



蜃気楼の季節も間近、皆様におかれましては、お忙しい日々をお過ごしことと存じます。白地にブルーとブロンズのラインの入った、北陸新幹線 W7 (E7) 系の車体が、北陸の地を疾走し始めました。観光そして地域産業発展への効果がおおいに期待されています。

今号の『きときと富山』は、平成27年度に工事完成予定の伏木地区岸壁 (-1.4m) の耐震改良工事の状況などにつきまして、お知らせします。

富山港国際物流ターミナル2号岸壁改良（耐震強化）



富山地区航空写真



鋼矢板打設完了

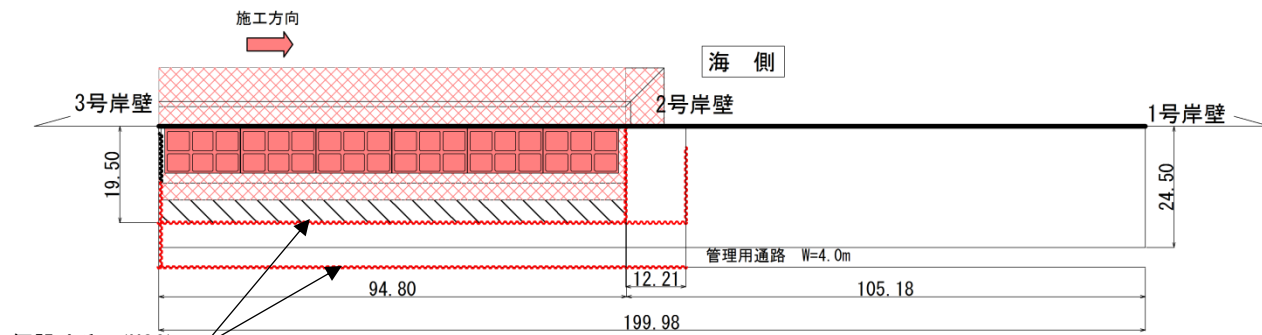
富山地区2号岸壁改良は、老朽化対策に併せて耐震性を強化し、大規模な震災が発生した際には、富山市をはじめとする背後地域への緊急物資の輸送拠点として使用できるよう、平成26年度より整備を進めています。整備は既設の鋼矢板式（鋼鉄製の板をつないで壁を作る構造のもの）から耐震性を強化した重力式にリニューアルするものです。

今年度は延長約200mのうち、およそ半分にあたる90mの岸壁本体を建設する準備として、下の図に示す位置に鋼矢板（鋼鉄製の板）で仮設の囲いをつくるため、鋼矢板を打ちこむ工事をしました。

鋼矢板の打ち込みは、バイプロハンマー（起震機）により20m近い長さのものを振動させながら打設するもので、住宅地が隣接していることから、騒音・振動の発生に細心の注意を払って実施しました。

来年度以降は、囲いの中の土砂を掘り上げ、地中の構造物を撤去し、その後、岸壁本体を建設していきます。また、当該施設は1号岸壁から3号岸壁の間に位置しているため、間を移動できるよう、仮設道路を設置しました。

本事業の整備は、平成26年度から平成30年度までの5年間で予定しています。今後も、周辺環境の保全に努めるとともに、港湾利用に十分配慮しながら整備を進めていきます。



施工平面図

伏木地区岸壁（-14m）改良（耐震強化）

伏木地区岸壁（-14m）改良では、防災・減災対策の一環として、大規模地震が発生した場合においても一部の岸壁が使用できるよう耐震化工事をすすめています。

工事は、既設の舗装版などを撤去した後、長さ64mの長いグラウンドアンカーを設置し、岸壁本体を安定させるもので、今年度から、2年の予定で実施しています。

今年度は、6月に基本調査試験を実施し、現地盤の強度が設計どおりであることを確認してから、延長280mの内、東側の140mを施工しました。

グラウンドアンカー設置に先立つ削孔作業は、施工条件が厳しいため、全国に5台しかない高性能な機種を使用して施工しました。

現場は供用中の岸壁であるため、荷役作業に支障を与えないよう関係者との調整を行い、事故や問題が生じない様に工事を進めています。



富岩水上ライン新艇就航式典

平成27年3月26日(木)、富岩運河環水公園から富山港までを結んで運航されている富岩水上ラインの新艇「fugan」の就航式、及び7年目となる富岩水上ラインの運航開始式が開催されました。

「fugan」は、北陸新幹線の開業にあわせ建造された外観を白と黒を基調としたデザインの新造船で、長さ17.8m、幅3.3mの大きさで、定員は55人です。屋根にはソーラーパネルを装備し、電気モーターを動力としています。フロントガラスには北陸新幹線の運転席にも用いられた地元企業の曲面ガラスが使われています。

式典は主催者挨拶の後、北陸地方整備局長（田所北陸地方整備局次長代読）他の祝辞、テープカット・くす玉割りの後、記念乗船が行われました。

富岩水上ラインは、冬期は休業で、例年は4～11月の期間に運航されていますが、新幹線開業を記念して3月中に運航を開始し、3月27日から31日の間は、特別運航が実施されます。

また、26年度は土日・祝日を中心に運航されていましたが、27年度は、ほぼ毎日運航されます。



平成27年3月作成



発行元：国土交通省 北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所
〒930-0856 富山市牛島新町11-3
TEL 076-441-1901 FAX 076-443-1408
<http://www.toyama.pa.hrr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」

